

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり9.16人の報告があり、前週と比べてやや減少しましたが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は13件報告されています。

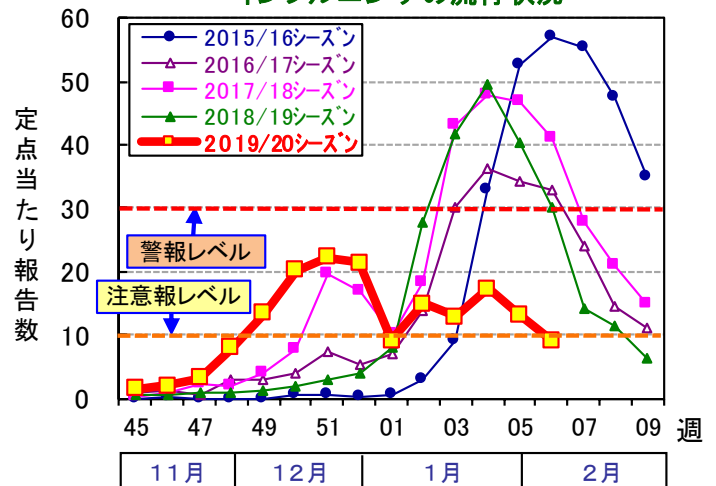
小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合があるため注意が必要です。症状などからインフルエンザが疑われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

2. 梅毒

5件の報告があり、今年の累計は15件(男性9件、女性6件)となりました。

梅毒は、早期に治療をすれば完治しますが、治療せずに放置すると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。また、妊娠中に感染すると、胎児に感染し、死産や奇形が起こることがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	339	9.16	37.79	◇	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.32	
	咽頭結膜熱	8	0.33	0.16		小児科	RSウイルス感染症	11	0.46	0.34	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	1.71	2.89	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	161	6.71	6.92	◇	眼科	流行性角結膜炎	7	0.88	0.48	
	水痘	17	0.71	0.46	↑	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.19		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	10	0.42	0.31		基幹	マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.14	
	突発性発しん	5	0.21	0.35		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.02		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.54	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	12	女性(10歳未満)、女性(50歳代)、男性(80歳代)、男性(90歳代)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	3	男性(50歳代)、女性(60歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	1	男性(70歳代)
5	梅毒	5	15	男性(20歳代)・3人、男性(50歳代)・1人、女性(50歳代)・推定感染地域: 国外・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第2週 第3週 第4週 第5週 第6週	インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウイル ス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺 炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎 (ロタ ウイルス)
			552 478 639 493 339	9 7 14 13 8	40 29 38 61 41	165 160 206 179 161	15 - 16 4 17	2 4 1 3 -	19 16 10 12 10	5 3 6 2 5	- - 1 - 1	2 1 1 1 -	10 8 4 10 11	- 1 - - -	3 3 1 4 7	1 - - - -	- - - - -	1 - 3 2 2	- - - - -	- - - - -
定 点 当 た り	広島市	第2週	14.92	0.38	1.67	6.88	0.63	0.08	0.79	0.21	-	0.08	0.42	-	0.38	0.14	-	0.14	-	-
		第3週	12.92	0.29	1.21	6.67	-	0.17	0.67	0.13	-	0.04	0.33	0.13	0.38	-	-	-	-	-
		第4週	17.27	0.58	1.58	8.58	0.67	0.04	0.42	0.25	0.04	0.04	0.17	-	0.13	-	-	0.43	-	-
		第5週	13.32	0.54	2.54	7.46	0.17	0.13	0.50	0.08	-	0.04	0.42	-	0.50	-	-	0.29	-	-
		第6週	9.16	0.33	1.71	6.71	0.71	-	0.42	0.21	0.04	-	0.46	-	0.88	-	-	0.29	-	-
	全国	第4週	18.00	0.41	3.18	7.14	0.43	0.16	0.53	0.31	0.02	0.06	0.33	0.01	0.40	0.03	0.02	0.31	-	0.04
		第5週	14.11	0.39	3.49	6.92	0.30	0.16	0.47	0.30	0.03	0.05	0.35	0.01	0.43	0.02	0.02	0.31	-	0.05

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(37.6) 咽頭炎 鼻炎	29	女	2019/12/25	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
インフルエンザ	発熱(38.3) 上気道炎	32	不詳	2020/01/06	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂 痒痒感	60	男	2019/12/16	結膜擦過物	アデノウイルス56型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 上気道炎	39	男	2019/12/24	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
その他の消化器疾患	腹痛	6	不詳	2019/12/27	糞便	アデノウイルス2型
その他の消化器疾患	腹痛	4	男	2019/12/31	糞便	アストロウイルス
その他の消化器疾患	嘔気 下痢	0	男	2020/01/03	糞便	アデノウイルス31型
その他の消化器疾患	腹痛	1	女	2020/01/04	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(38.2)	0	男	2019/11/20	糞便 鼻汁	パレコウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★新型コロナウイルス感染症について

- ・中華人民共和国湖北省武漢市において、昨年12月以降、新型コロナウイルス感染症の発生が報告され、その後、世界各地で患者発生の報告が続いています。
- ・感染経路は、現時点では、飛沫感染と接触感染の2つが考えられています。
- ・感染予防には、風邪やインフルエンザと同様に、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って口や鼻をおさえる「咳エチケット」や、石けんを使った手洗いなどの感染症対策を行うことが重要です。

【問い合わせ先】健康福祉局 保健部 健康推進課 または 各区の保健センター

最新情報等については、以下のホームページからご確認ください。

・新型コロナウイルス感染症について【厚生労働省】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

・新型コロナウイルス感染症に関する情報(患者の発生状況等)【健康推進課】

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1578618974257/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2020年第6週(2月3日~2月9日)